



第92回

巨人の投手交代「えっダメ？」

※2021年6月の毎日新聞記事を元にした文章です。

校閲し、直すべきところを指摘してください。

兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開催された20日の阪神―巨人戦で、球審の勘違いで巨人の投手交代が一時、認められない一幕があった。

巨人が1点リードの七回2死二、三塁の守り。4番手・高梨が阪神の代打・北條に4球目を投げた直後に原監督が飯塚球審に投手交代を告げたが、飯塚球審は認めなかった。その後、審判団で協議し、高梨から鍵谷への交代が認められた。鍵谷は見逃し三振に仕留めてピンチを脱した。

交代を止められたことについて試合後、巨人の宮本投手チーフコーチは「（北条の打席が）『成立するまでダメなんだ、交代できな

い』と（言われた）。審判の勘違いですと」明かした。

高梨は七回の先頭打者から登板していたが、2死一、二塁で北條が代打に送られた際、桑田投手チーフコーチ補佐がマウンドに行ったことで投手交代が行われ、高梨にとつて1人目の打者が北條になると勘違いしたとみられる。野球規則の「プレーヤーの交代」では、「ある投手に代わって救援に出た投手は、そのときの打者または代打者がアウトになるか一塁に達するか、あるいは攻守交代になるまで、投球する義務がある」となっている。これに基づき、交代を認めなかったらしい。

試合は巨人が3―1で阪神に競

り
勝
つ
た。
。